

平成21年度 エコアクション 21

環境活動レポート

平成22年5月20日

未来工業株式会社 大垣工場

1 環境方針

1. 未来工業株式会社大垣工場は、地球に対する思いやりを因るため電気設備資材及び給排水設備資材のプラスチック成形を主体とした製造活動を通して、環境への負荷を削減するため、次の事項を重要項目として環境目標を設定し、自主的積極的に取り組み行動致します。

- ① 産業廃棄物の削減
- ② 総排水量の削減
- ③ 二酸化炭素の排出量の削減
- ④ ゴミの分別指導教育と外部セミナーの参加
- ⑤ オフィス用紙の削減
- ⑥ 工場周辺の環境活動

この方針を賜り、全事業員が環境負荷軽減を常に考え、目標に向かって周知徹底を図り推進します。

2. 関連する法規制を遵守し、環境への影響評価を行うと共に継続的な維持改善を図ることを誓約します。
3. 環境活動レポートを自社のホームページに公表し、環境コミュニケーションに取り組みます。

平成 19 年 3 月 14 日

未来工業株式会社 大垣工場
工場長 吉田一明

◆ 環境目標とその実績

当大垣工場は、下記の環境年度目標を立て環境活動行動をしました。

環境目標（重要項目）

取組項目	目標年度	中期環境目標	21年度環境目標
産業廃棄物の削減	23年	23年総量比で6%の削減	20年総量比で2%の削減
総排水量の削減	23年	23年総量比で6%の削減	20年総量比で2%の削減
二酸化炭素の排出量の削減	23年	23年総量比で3%野削減	20年総量比で1%の削減

環境の実績

取組項目	単位	18年度	19年度	20年度	21年度	
					実績	20年度 総量比 評価
産業廃棄物の削減	t	32.4	25.2	18.0	16.5	14.9 % ◎
総排水量の削減	m ³	336,871	216,613	169,477	174,825	+3% ×
二酸化炭素の排出量の削減	Kg/CO ₂	2,848,273	2,548,738	2,431,758	2,087,406	14.2 % ◎
ゴミの分別教育と外部セミナーの参加	*回/人	11回/22人	6回/11人	5回/26人	5回/21人	—
オフィス用紙の削減	t	0.494	0.530	0.470	0.420	10.6 % ◎
工場周辺の環境活動	*回/人	1回/140人	1回/142人	1回/142人	1回/144人	—

評価 ◎：10%以上の大幅達成 ○：0.5%～10%で達成 △：0～0.5%で未達
×：0.5%以下未達

重要課題項目の補足

産業廃棄物の削減

始めに 21 年度産業廃棄物の削減は、前年度より引き続きリサイクル・リユースの徹底を図り、生産工程のロス材料を減らした結果、前年比 14.9%と大幅な削減となりました。

総排水量の削減

総排水量については、前年度より引き続きクーリングタワーのリサイクル水と新水を混合して利用しておりますが、夏季におけるリサイクル水の温度上昇があり、新水とリサイクル水の割合を変更により前年比 2%削減目標に対して 3%の増加となりました。

二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素の削減については、製造設備の作業終了時、電源遮断の徹底を図るとともに電気設備の配線等の見直しを行なった結果、前年比 14.2%と大幅な削減となりました。

◆ 主な活動計画の内容

- ① 産業廃棄物の削減
 - ・ トライ材料の削減
 - ・ 金型トライ回数の削減
 - ・ 金型構造の見直し
 - ・ 大型成形品ロスの削減
 - ・ 材料リサイクル化の徹底
 - ・ 再利用可能な分別徹底
 - ・ 材料見本の見直し
- ② 総排水量の削減
 - ・ 金型冷却注水量の維持管理
 - ・ 汲み上げポンプの効率化（省エネも含む）
- ③ 二酸化炭素の排出量の削減
 - ・ 未使用設備の電源遮断
 - ・ 電気コンプレッサーの負荷軽減（自動制御）
 - ・ 未作業場所の消灯
 - ・ 採光利用の節電
 - ・ 省エネ型照明設備の導入（ミラー型反射板器具の一部導入）
 - ・ 省電型設備の導入
 - ・ ライトダウンキャンペーンの参加（広告塔の消灯）夏至の日・七夕の日
 - ・ 紙ごみの削減
- ④ ゴミの分別指導教育と外部セミナーの参加
 - ・ 職場における会合時の環境勉強会の実施
 - ・ 環境に関するセミナーの積極的参加

- ・ 環境展示会の積極的参加
 - ・ 環境処理施設への見学及び定期確認
- ⑤ オフィス用紙の削減
- ・ 社内 LAN によるペーパーレス化の推進
 - ・ 裏紙の再使用
- ⑥ 工場周辺の環境活動
- ・ 工場周辺における全員参加による清掃作業の実施

◆ 環境活動の取組結果の評価

1. 産業廃棄物の削減

大型成形品のロス材料を減らすため、成形段取りを努力した結果、表一1 のようになりました。

表一1 リサイクル・リユース結果

期間	材料名	使用量 (kg)	リユース (kg)	リサイクル (kg)
1～6 月	ABS ベージュ	29,675	863 (2.9%)	79 (0.25%)
	ABS ホワイト	21,725	559 (2.5%)	672 (3.1%)
7～12 月	ABS ベージュ	27,460	720 (2.6%)	55 (0.21%)
	ABS ホワイト	24,800	565 (2.5%)	890 (3.5%)

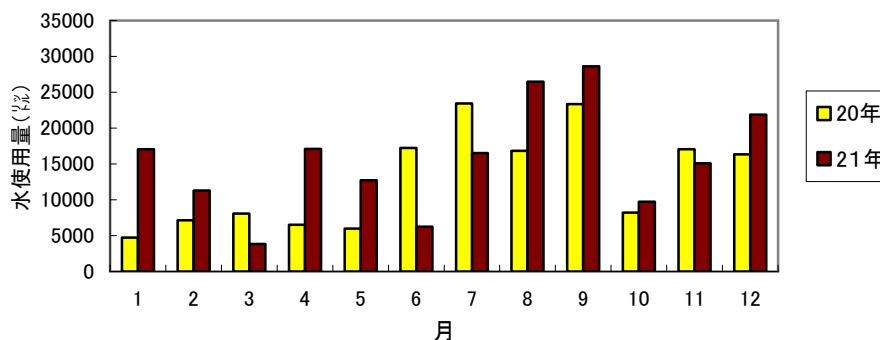
ABS ベージュ系においてリユースのロス削減はできました。

ホワイト系の削減効果は見られなかったものの他全体を含めた評価として、一部削減につなげたものと思われます。

2. 総排水量の削減

20 年度に引き続きクーリングタワーによるリサイクル水と新水を混合使用していたが、夏季において、リサイクル水の温度上昇があり、生産の都合上リサイクル水と新水の割合を変更したため前年に比べて8月・9月に新水の使用量増加したため、その結果前年比より3%増加しました。(表一2)

表一2 製造設備冷却水の使用量



3. 二酸化炭素の排出量の削減
21 年度における生産は、前年と同様に横ばい傾向を示し、生産効率の改善を図り前年比 14.2%削減しました。
4. ゴミ分別指導教育と外部セミナー参加
各職場での分別処理の標準化、環境教育を実施し、環境委員の新たな環境施設等の見学教育により、今後の環境活動の活性化につなげたものと思われま。
5. オフィス用紙の削減
社内 LAN によるペーパーレス化と裏紙再利用により前年比 7.3%削減しました。
6. 工場周辺の環境活動
年 1 回工場周辺の草取り清掃活動を全員参加で実施しました。

◆ 環境関連法規の違反、訴訟等の有無

適用となる主な環境関連法規の遵守状況

下記の通り法令違反は、ありませんでした。

又、過去 3 年間にわたり関係機関、地域住民等からの特に指摘はありませんでした。

同様に訴訟等もありませんでした。

環境関連法令項目	内 容	遵守状況	測定結果
騒音規制法	特定施設の設置届、定期的な測定実施	○	○
振動規制法	特定施設の設置届、定期的な測定実施	○	○
水質汚濁防止法	定期的な検査実施	○	○
浄化槽法	保守点検、定期的な検査実施	○	○
輪之内町公害防止協定書	騒音、振動、水質、悪臭 協定書による	○	
消防法	指定可燃物の届出、取扱の届出、指定看板の設置、火報設備、消火器設置の定期点検	○	
廃棄物処理法	契約書、マニフェストの伝票管理	○	
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の届出	○	
	指定看板の設置、処理施設の視察実施、	○	
PRTR 制度	対象物質の把握、届出	○	
PCB 特別措置法	保管管理中、届出、(処理依頼予約提出済)	○	
RoHS 指令	特定物質の把握	○	
省エネ法	第二種エネルギー管理指定工場 (H22 年 3 月まで)	○	

◆当工場の概要

(1) 事業者名及び代表者名

未来工業株式会社 大垣工場 工場長 吉田一明

(2) 所在地

岐阜県安八郡輪之内町楡俣 1695-1

(3) 環境保全関係の責任者

環境管理責任者 大垣工場 管理課 課長 高橋 昇

連絡先 電話 (0584) 68-0017 FAX (0584) 69-3154

事業内容

電設資材及び住設資材の製造

(5) 事業規模

製品生産額	139 億 7,700 万円
主要製品生産量	プラスチック製品 2,817 トン
	金属製品 317 トン
	鋳造品 58 トン
従業員数	144 人
工場延べ床面積	19,385 m ²

※ 環境年度を 21 年 1 月から 12 月にしております。